**長期インターンシップ派遣（第５期）（DC用）**

**応募申請書**

履歴等

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| セイ  姓 |  | | | メイ名 |  | | 所属  学年 | |  | | | |
| 生年月日(西暦) | | 年　　　　月　　　　日生 | | | | | 性別 | | 男　・　女 | | 国籍 |  |
| 現 住 所 | | 〒  電話番号：（　　）　　　—　　　　　　　　　e-mail：  学内連絡先電話番号： | | | | | | | | | | |
| 学 歴  ※大学卒業以降について詳細に記載する。欄が足りない場合は追加する。 | | 年　　月　　　　　　　大学　　　　　　学部　　　　　　　　学科卒業 | | | | | | | | | | |
| 年　　月　　　　　　　大学大学院 | | | | | | | | | | |
| 年　　月　　　　　　　大学大学院 | | | | | | | | | | |
| 年　　月 | | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | |
| 言　　語 | | 母国語 | | | |  | | 日常会話が  可能な言語 | |  | | |
| 語学に関する資格・点数（英検、TOEIC等） | | 年　 月 | | | |  | | 留学生の場合、政府  派遣、国費、私費の別 | |  | | |
| 年　 月 | | | |  | |
| 現在受給している助成等の有無 | | 有　・　無 | | | | 具体的な助成等名（RA、TA、日本学術振興会特別研究員等）とその業務内容 | | | | | | |
| 企業等との共同研究の経験・実績 | | | 相手先企業等と応募者が果たした役割（共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること） | | | | | | | | | |
| インターンシップの経験 | | | 受入先、期間、業務内容（インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること） | | | | | | | | | |

**１　インターンシップ派遣に対する抱負**

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1，000字程度以内で記述すること。

1. 志望動機、理由（インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか　など）
2. 希望する派遣プログラム先（インターンシップ先）または分野（決まっている場合）とその理由
3. 派遣プログラム（インターンシップ）で身につけたい技術や知識について
4. インターンシップ後のキャリアパスについて

**２　これまでの研究概要**

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点（アピール・ポイント）、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること（図表を含めてもよい）。

**３　研究業績（参考）**

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。）

1. 学術雑誌等（紀要及び論文集等も含む。）に発表した論文及び著書（査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのもののみ記載すること。）
2. 著者（応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること）、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。（2）の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
3. 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
4. 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説（既に掲載されているもののみを掲載すること。）
5. 国際学会における発表（既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。）、著者（応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。）、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
6. 国内学会・シンポジウム等における発表（上記（3）の国際学会における発表と同様に記載すること。）
7. 特許等（公開若しくは取得について明記すること。）
8. その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
| **平成　　　年　　　月　　　日**  **長期インターンシップ派遣（第５期）応募者に関する推薦書（ＤＣ用）**  **「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、**  **（応募者の氏名）**  **を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。**      **所属機関・専攻**  **職名　・　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞**  **連絡先（電話　・　e-mail）**   1. **応募者との関係** 2. **応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力（着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど）について記入してください。** 3. **応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。** |

※作成上の注意

推薦書は１ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

**長期インターンシップ派遣（第５期）（PD用）**

**応募申請書**

履歴等

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| セイ  姓 |  | | | メイ名 |  | | 所属 | |  | | | |
| 生年月日(西暦) | | 年　　　　月　　　　日生 | | | | | 性別 | | 男　・　女 | | 国籍 |  |
| 現 住 所 | | 〒  電話番号：（　　）　　　—　　　　　　　　　e-mail：  学内連絡先電話番号： | | | | | | | | | | |
| 学 歴  ※大学卒業以降について詳細に記載する。欄が足りない場合は追加する。 | | 年　　月　　　　　　　大学　　　　　　学部　　　　　　　　学科卒業 | | | | | | | | | | |
| 年　　月　　　　　　　大学大学院 | | | | | | | | | | |
| 年　　月　　　　　　　大学大学院 | | | | | | | | | | |
| 年　　月 | | | | | | | | | | |
| 年　　月　　博士学位取得（見込み） 　（学位名称　　　　　 　　　　　） | | | | | | | | | | |
| 言　　語 | | 母国語 | | | |  | | 日常会話が  可能な言語 | |  | | |
| 語学に関する資格・点数（英検、TOEIC等） | | 年　 月 | | | |  | | 留学生の場合、政府  派遣、国費、私費の別 | |  | | |
| 年　 月 | | | |  | |
| 職　　歴 | | 具体的な助成等名（RA、TA、日本学術振興会特別研究員等）とその業務内容 | | | | | | | | | | |
| 企業等との共同研究の経験・実績 | | | 相手先企業等と応募者が果たした役割（共同研究の経験がない場合は「なし」と記入すること） | | | | | | | | | |
| インターンシップの経験 | | | 受入先、期間、業務内容（インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入すること） | | | | | | | | | |

**１　インターンシップ派遣に対する抱負**

長期インターンシップの主旨を踏まえつつ、下記の4項目を中心に1，000字程度以内で記述すること。

1. 志望動機、理由（インターンシップ経験が将来のキャリアアップにどのように生かされるか　など）
2. 希望する派遣プログラム先（インターンシップ先）または分野（決まっている場合）とその理由
3. 派遣プログラム（インターンシップ）で身につけたい技術や知識について
4. インターンシップ後のキャリアパスについて

**２　これまでの研究概要**

これまでの研究内容を中心に、その背景、特色及び独創的な点（アピール・ポイント）、進捗状況について、500字程度以内で分かり易く簡潔に記述すること（図表を含めてもよい）。

**３　研究業績（参考）**

下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。）

1. 学術雑誌等（紀要及び論文集等も含む。）に発表した論文及び著書（査読の有無を区分して記載すること。査読の有る場合、印刷済み及び掲載決定済みのもののみ記載すること。）
2. 著者（応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載すること）、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。（2）の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
3. 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添すること。
4. 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説（既に掲載されているもののみを掲載すること。）
5. 国際学会における発表（既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること。）、著者（応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載すること。）、題名、発表した学会名、場所、発表年月を記載すること。発表者に○印を付すこと。
6. 国内学会・シンポジウム等における発表（上記（3）の国際学会における発表と同様に記載すること。）
7. 特許等（公開若しくは取得について明記すること。）
8. その他（受賞歴等）

|  |
| --- |
| **平成　　　年　　　月　　　日**  **長期インターンシップ派遣（第５期）応募者に関する推薦書（PD用）**  **「イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム」の趣旨を理解し、**  **（応募者の氏名）**  **を、本取組の長期インターンシップ派遣の候補者として推薦します。**      **所属機関・専攻**  **職名　・　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞**  **連絡先（電話　・　e-mail）**   1. **応募者との関係** 2. **応募者の取組姿勢、研究の進捗状況、専門的知識・技量、その他能力（着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど）について記入してください。** 3. **応募者が長期インターンシップを経験することの意義について記入してください。** |

※作成上の注意

推薦書は１ページ以内で作成し、厳封のうえ提出してください。

【連携機関のみ】

同　意　書

広島大学長　殿

（応募者の氏名）

　　　　　　　　　　　の長期インターンシップ派遣において、下記のことに同意する。

記

１．応募者が博士課程（博士課程前期を除く。）の学生である場合は、広島大学大学院共通授業科目「長期インターンシップ」を履修すること。

２．所属大学の責任において、応募者が博士課程（博士課程前期を除く。）の学生である場合は、応募学生を学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び**学研災付帯賠償責任保険に加入させること。**

**３．長期インターンシップ派遣において締結する「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラムにおける長期インターンシップ派遣の実施に関する覚書及び実施要項について、広島大学及び受入機関と協議の上、締結すること。**

以上

　　平成　　年　　月　　日

住所

所属大学名

代表者　　　　　　　　　　　　　　　印